

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名	一般国道417号冠山峠道路 <small>かんむりやまとうげ</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：岐阜県揖斐郡揖斐川町塚奥山 至：福井県今立郡池田町田代 <small>いび いびがわちようつかおくやま いまだて いけだちようたしろ</small>	延長	7.8km		
事業概要	<p>一般国道417号は、岐阜県大垣市を起点とし、福井県南条郡南越前町を終点とする道路であり、このうち、福井県と岐阜県の県境にあたる冠山峠付近は、交通不能区間となっており、代替路として線形不良箇所や冬期通行止のある林道が利用されている。</p> <p>冠山峠道路は、岐阜県揖斐郡揖斐川町塚奥山から福井県今立郡池田町田代を結ぶ7.8km道路で、岐阜県・福井県の交通不能区間の解消を図り、安全・安心な交通を確保することを目的に計画された道路である。</p>				
H15年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H19年度用地着手	H20年度工事着手		
全体事業費	約300億円	事業進捗率 (平成31年3月時点)	約68%	供用済延長	—
地域の防災面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県と岐阜県をつなぐ国道417号のうち冠山峠付近（7.6km）が唯一の自動車通行不能区間。国道の代替路である林道（林道塚線・林道冠山線）は冬期や悪天候時には全面通行止となる。また、周辺道路も通行不能区間が多く、道路ネットワークが脆弱。 ・ 国道の代替路である林道（林道塚線・林道冠山線）は、道幅が狭く、急カーブ・急勾配が連続。急カーブ箇所は73箇所存在し、過去には大型車の脱輪による交通障害が発生。 ・ 当該区間は、急峻で脆弱な地形、地質であり、代替路となっている林道は土砂崩れ等の危険性が高いため、抜本的な対策が早急に必要。また、冠山峠道路は、現道が無いため、道路としての機能が必要な事業であり、隣接自治体とのネットワークを早急に完成が必要。（大災害時における広域陸路に関する有識者会議 H25.10.28）。 				
課題を踏まえた対策・事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車交通不能区間、冬期通行止区間を解消するとともに、土砂崩落による通行止を回避する対策としてトンネルを主体とした別線整備で計画。 ・ 当該区間は急峻な地形で、代替路となっている林道には線形不良箇所が多数存在するため、林道を拡幅しても、幹線道路の代替路としての機能は不十分。 ・ 当該事業は、急峻な地形に位置し、既存の林道の拡幅が困難であることから、トンネル、橋梁を主体とした新設ルートで計画し、雪崩等の雪害を受けやすい斜面を避けていることから防災面から見て技術的に妥当である。（大災害時における広域陸路に関する有識者会議 H25.10.28）。 				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ①災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 351億円 (残事業 351億円) ②災害による被害の回避 ・ 災害時の代替機能の確保。 ③交通不能区間の解消 ・ 国道417号における交通不能区間（L=7.6km）を解消する。 		費用： (残事業)/(事業全体) 152 / 316 億円 (事業費： 119 / 284 億円 維持管理費： 33 / 33 億円)		
関係する地方公共団体等の意見	地域から頂いた主な意見等： <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年9月冠山トンネル(国道417号)早期開通促進福井県連絡協議会(鯖江商工会議所会頭、池田町商工会長、越前市商工会長)より整備促進の要望を受けている。 ・ 平成30年9月冠山トンネル(国道417号)早期開通促進期成同盟会(大垣市長、鯖江市長、池田町長、揖斐川町長)より整備促進の要望を受けている。 				
岐阜県知事の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。 ・ 岐阜県及び福井県では、東海環状自動車道の開通や北陸新幹線の敦賀開業を控えており、今後更なる 				

交流人口の拡大が見込まれます。岐阜県といたしましては、冠山峠道路は、交通不能区間の解消や両県の交流をより一層活性化させる重要な道路と認識していることから、速やかに整備を進めるべき事業であり、引き続き早期供用に向けた事業の推進をお願いします。

- ・事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いします。

福井県知事の意見：

- ・一般国道 417 号冠山峠道路の対応方針（原案）「事業継続」について異存ありません。
- ・冠山峠道路は、岐阜県境部の交通不能区間を解消し、中京圏から日本海側を最短で結ぶ道路である。岐阜・福井両県の観光や産業の活性化に大きく寄与し、北陸新幹線福井・敦賀開業の効果を広域に波及させるためにも、十分な予算を確保し、速やかに整備を進めるべき事業である。
- ・引き続き事業を推進し、早期完成に努められるとともに、コスト縮減を図りながら事業を実施していただきたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道 417 号冠山峠道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針（原案）のとおり「事業継続」することが妥当と判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

一般国道 417 号冠山峠付近は、依然として、自動車交通不能区間となっている。
また、代替路となっている林道では、依然として、土砂崩れが多発し、冬期通行止となっている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成15年度事業化、用地進捗率100%、事業進捗率約68%（平成31年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、事業を推進し、早期開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等により、コスト縮減に努める。

対応方針：事業継続

対応方針決定の理由

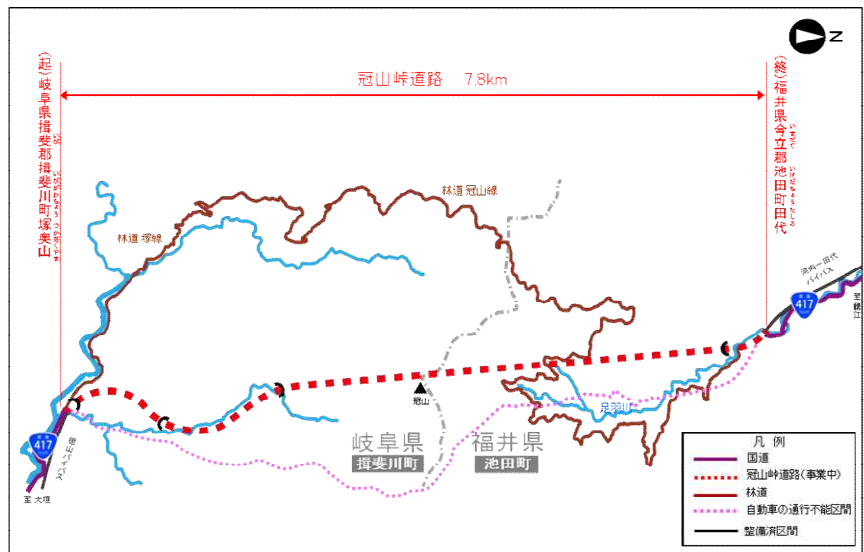
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性は変化なく、防災面の効果が見込まれる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※ 1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後 50 年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
 ※ 2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。